



**CubeSoft**  
Concurrent Universal Bright Engine



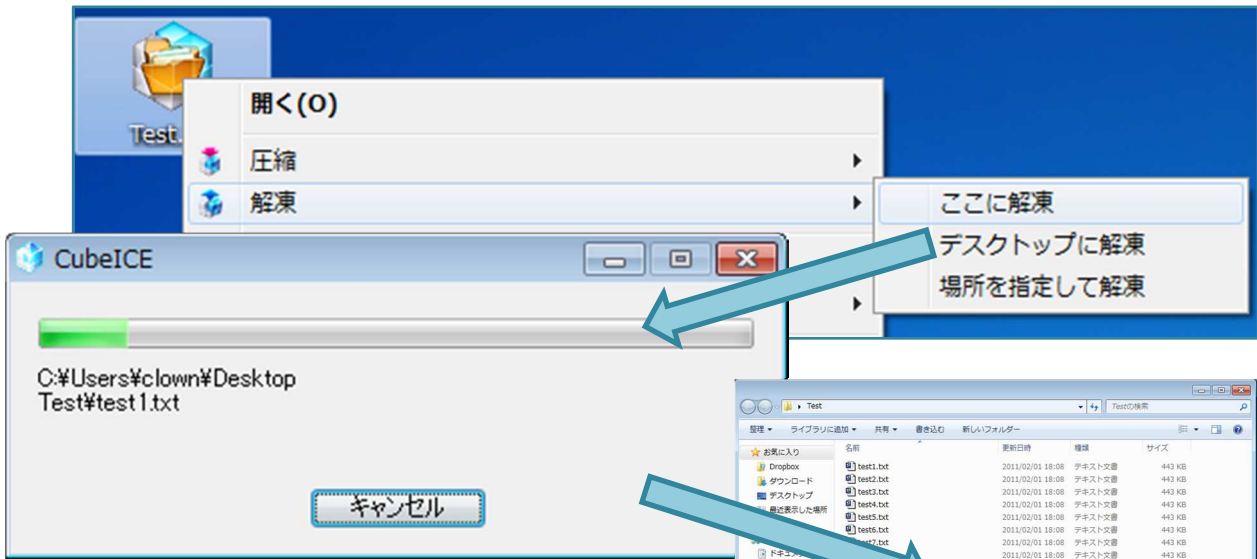
# CubeICE

## ユーザーズマニュアル

2011.02.01 初版

## 1. CubeICE のインターフェース

CubeICE には、ファイルやフォルダの圧縮・解凍を実際に行う「CubeICE」と、圧縮・解凍を行う際の各種設定を行う「CubeICE 設定」の2種類のアプリケーションが存在します。



CubeICE のメイン画面

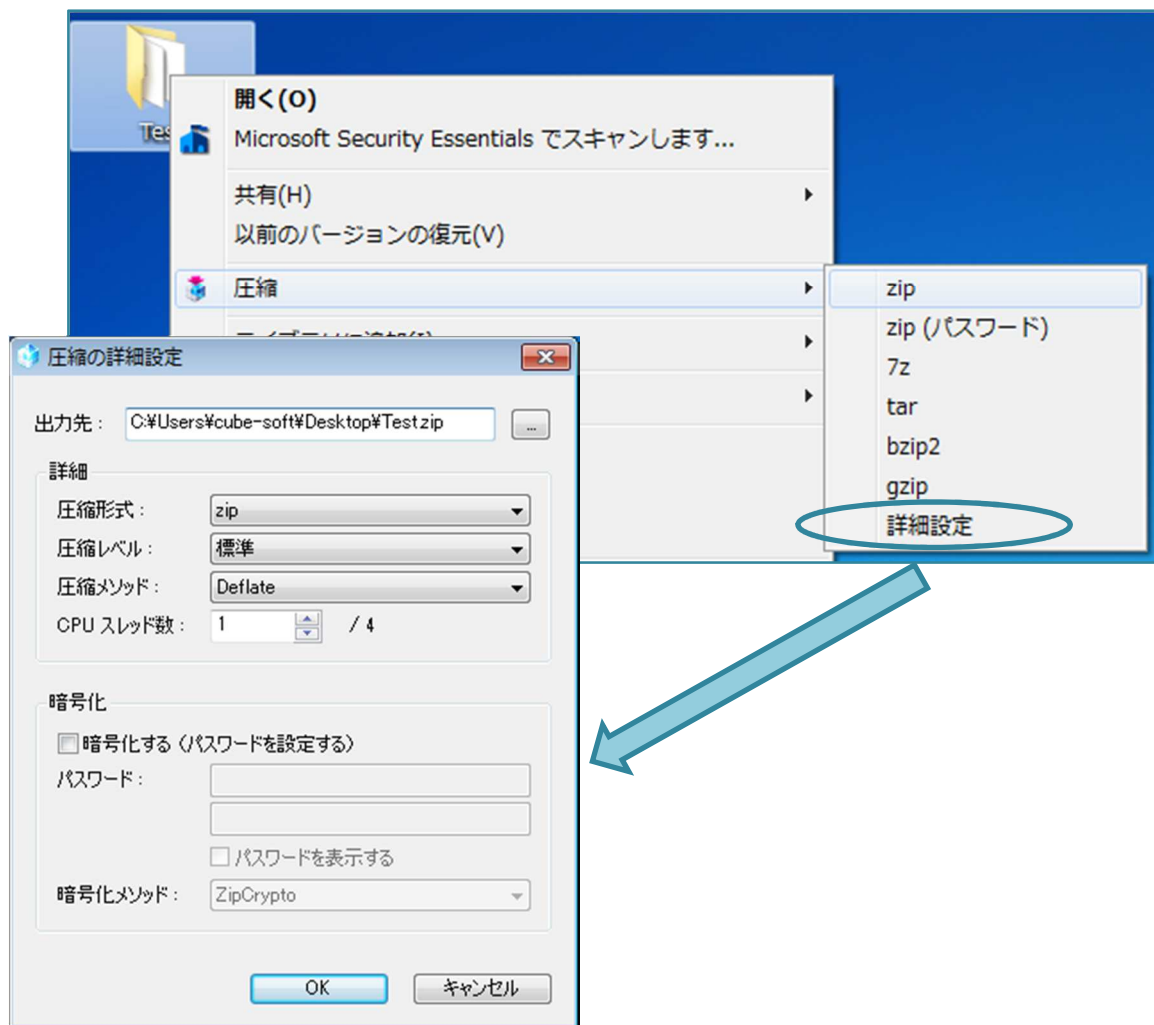


CubeICE の設定画面

## 2. 圧縮

### 2.1 コンテキストメニューから選択

圧縮したいファイルやフォルダを選択し、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「圧縮」を選択します。すると、下図のようにサブメニューに圧縮形式の一覧が表示されますので、使用したい圧縮形式をクリックします。

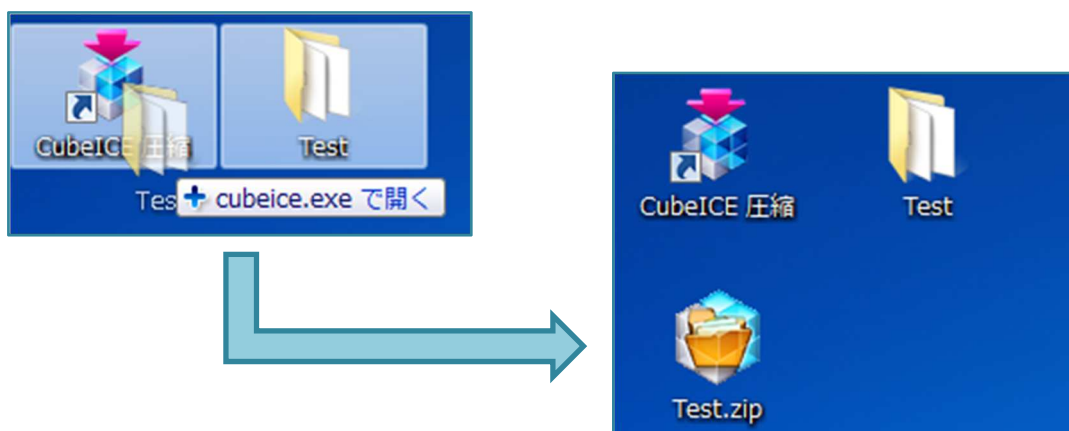


サブメニューで「詳細設定」を選択した場合、以下のようなダイアログが表示されます。「圧縮レベル」や「圧縮メソッド」は、作成される圧縮ファイルのファイルサイズに影響します。

※ CubeICEはマルチコア・プロセッサに対応しています。ご利用のパソコンの CPU がマルチコアの場合は、「CPU スレッド数」で使用するコア数を設定できます。

## 2.2 ショートカットへドラッグ&ドロップ

圧縮ファイルを作成する別の方法として、圧縮したいファイルやフォルダを選択して「CubeICE 圧縮」のショートカットにドラッグ&ドロップするという方法があります。この方法で圧縮ファイルを作成した場合、初期設定では Zip ファイルが作成されます。「CubeICE 圧縮」のショートカットにドラッグ&ドロップしたときに作成される圧縮ファイルの圧縮形式を変更したい場合、「CubeICE 設定」で設定を変更します。



## 2.3 パスワードの設定

右クリックで表示されるコンテキストメニューから「zip (パスワード)」を選択、または「CubeICE 圧縮」のショートカットの圧縮形式を「zip (パスワード)」に設定しているときにファイルやフォルダをドラッグ & ドロップした場合には、以下のようにパスワードの設定を求められます。



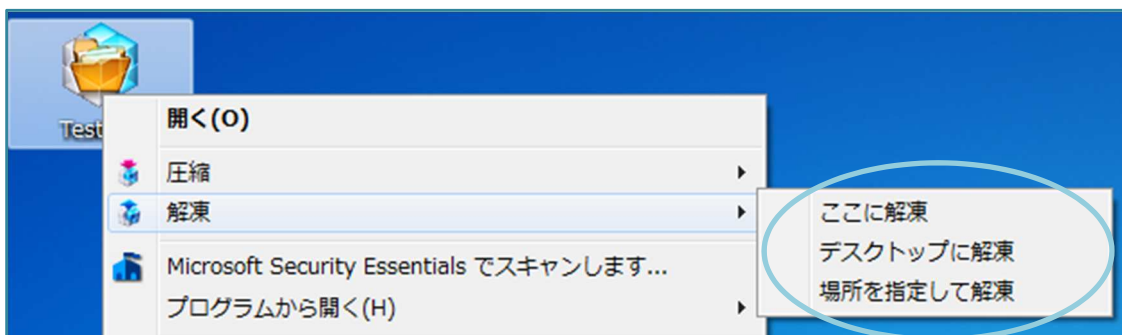
## 3. 解凍

### 3.1 関連付けられたファイルをダブルクリック

CubeICE に関連付けされた圧縮ファイルをダブルクリックする事によって、解凍が始まります。初期設定で関連付けられている圧縮形式は、\*.zip, \*.7z, \*.lzh, \*.rar, \*.tar, \*.gz (\*.tgz), \*.bz2 (\*.tbz), \*.cab, \*.xz の9種類です。ファイルの関連付けは「CubeICE 設定」で変更する事ができます。

### 3.2 コンテキストメニューから選択

CubeICE が解凍可能な圧縮ファイルの場合、右クリックで表示されるコンテキストメニューに「解凍」が表示されます。この「解凍」メニューをクリックする事によっても解凍が始まります。



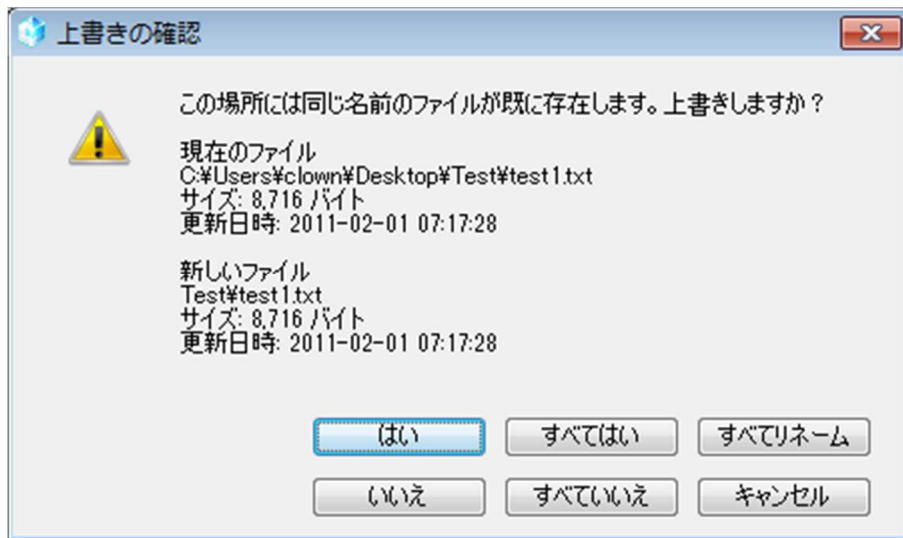
### 3.3 ショートカットへドラッグ&ドロップ

CubeICE で圧縮ファイルを解凍する 3つめの方法は、解凍したいファイルを「CubeICE 解凍」のドラッグ&ドロップする方法です。



### 3.4 上書きの確認

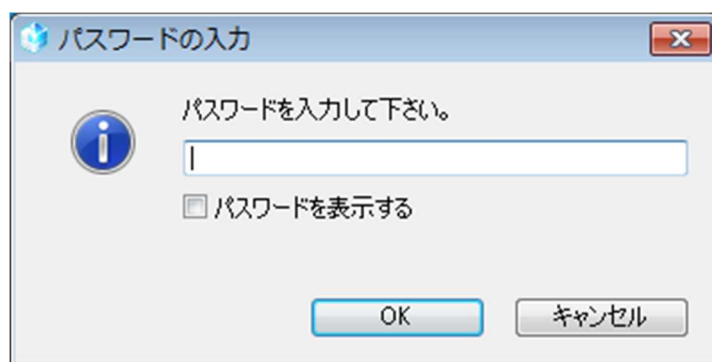
CubeICE で圧縮ファイルを解凍するときに解凍先に同名のファイルが存在する場合、以下のような確認ダイアログが表示されます。



このとき、「すべてはい」、「すべてリネーム」、「すべていいえ」を選択するとこれ以降、同じファイルが存在したときに確認なしに選択した処理(上書き/リネーム/破棄)を行います。また、「キャンセル」をクリックすると直ちに解凍を中止します。「すべてリネーム」をクリックした場合は、Test.txt の場合は Test (2).txt のように CubeICE が新しいファイル名に自動的に変更します。

### 3.5 パスワードの入力

解凍しようとした圧縮ファイルにパスワードが設定されていた場合、以下のようなダイアログが表示されますので、解凍するためのパスワードを入力します。



## 4. ファイル一覧の表示

エクスプローラーなどで、CubeICE に関連付けられている圧縮ファイルにマウス・カーソルをあわせると、ツールチップにその圧縮ファイルのファイル一覧が表示されます。



初期設定では、該当の圧縮ファイルに 5個以上ファイルが存在する場合は 6個目以降のファイルのファイル名表示は省略されます。  
表示件数については、「CubeICE 設定」で変更する事ができます。

## 5. 設定

### 5.1 一般

#### 5.1.1 ファイルの関連付け

ファイルをダブルクリックした際に CubeICE で解凍するファイルの種類を選択します。関連付け可能なファイル形式は、\*.zip, \*.lzh, \*.rar, \*.tar, \*.gz, \*.7z, \*.arj, \*.bz2, \*.cab, \*.chm, \*.cpio, \*.deb, \*.dmg, \*.iso, \*.rpm, \*.tbz, \*.tgz, \*.wim, \*.xar, \*.xz の 20種類です。

#### 5.1.2 追加するコンテキストメニュー

エクスプローラー等でファイルやフォルダを右クリックした際に、コンテキストメニューに表示させるメニューを選択します。ただし、「解凍」メニューについては、CubeICE がそのファイル形式に対応している場合のみ表示されます。

#### 5.1.3 デスクトップに作成するショートカット

「圧縮」、「解凍」はファイルやフォルダをドラッグ&ドロップする形で CubeICE を実行するためのショートカットを作成します。「圧縮」については、ドラッグ&ドロップしたときに作成される圧縮形式も設定する事ができます。



## 5.2 圧縮

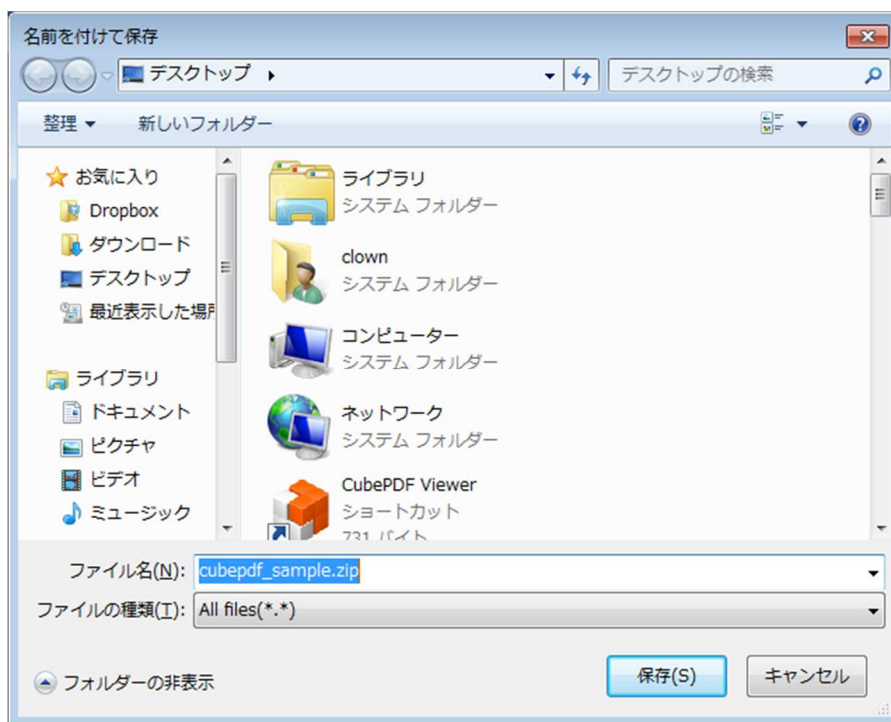
### 5.2.1 出力先フォルダ

CubeICE で圧縮をおこなったときに、作成された圧縮ファイルを保存する場所を指定します。指定できる場所は、以下の 3通りです。

**指定したフォルダ** … ユーザが指定したフォルダに常に圧縮ファイルを作成します。尚、「指定したフォルダ」をチェックしただけの状態(フォルダの指定なし)のときには、デスクトップに圧縮ファイルを作成します。

**元のファイルと同じフォルダ** … 圧縮するファイル、フォルダの存在するフォルダに圧縮ファイルも作成します。

**実行時に指定する** … 実行時に以下のようなダイアログが表示されます。



## 5.2.2 詳細

圧縮については、以下の項目について設定する事ができます。

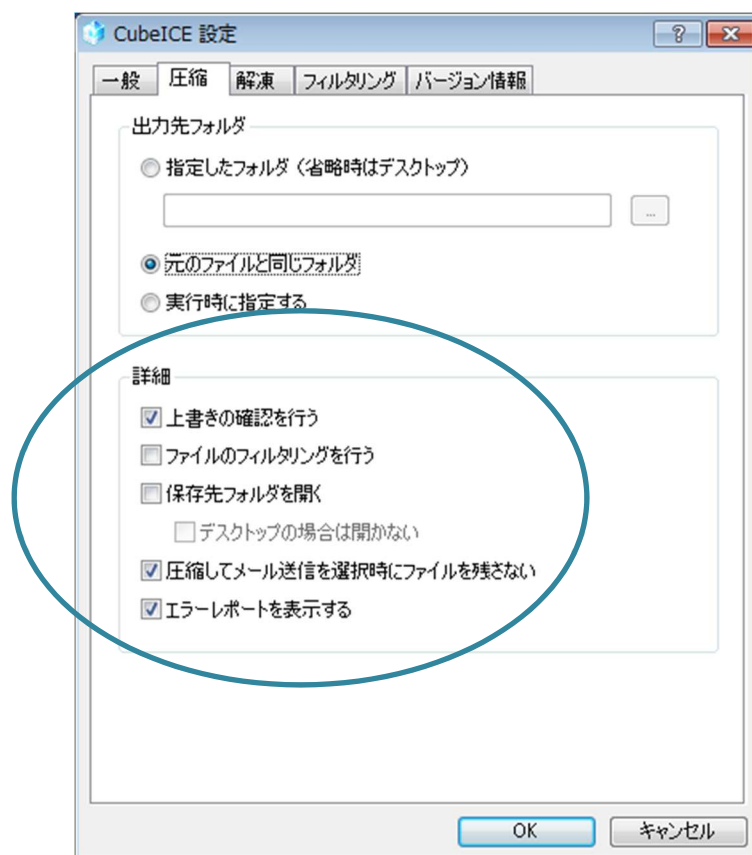
**上書き確認を行う** … 指定した名前のファイルが既に存在する場合に、上書きを行うかどうかを確認するためのダイアログを表示します。

**ファイルのフィルタリングを行う** … 圧縮ファイルから特定の条件に合致する名前のファイルを含めないようにします。圧縮ファイルに含めない名前のファイルの設定は、「フィルタリング」タブで設定する事ができます。

**保存先フォルダを開く** … 圧縮処理が終了した後に、作成された圧縮ファイルが保存されているフォルダを自動的に開きます。この設定には、「デスクトップの場合は開かない」ように設定できるオプションが存在します。

**圧縮してメール送信を選択時にファイルを残さない** … 右クリックで表示されるコンテキストメニューで「圧縮してメール送信」を選択した場合には、作成された圧縮ファイルを保存しなくなります(メールに添付するだけ)。

**エラーレポートを表示する** … CubeICE で圧縮を行っているときに何らかのエラーが発生した場合に、エラー内容が表示されます。



## 5.3 解凍

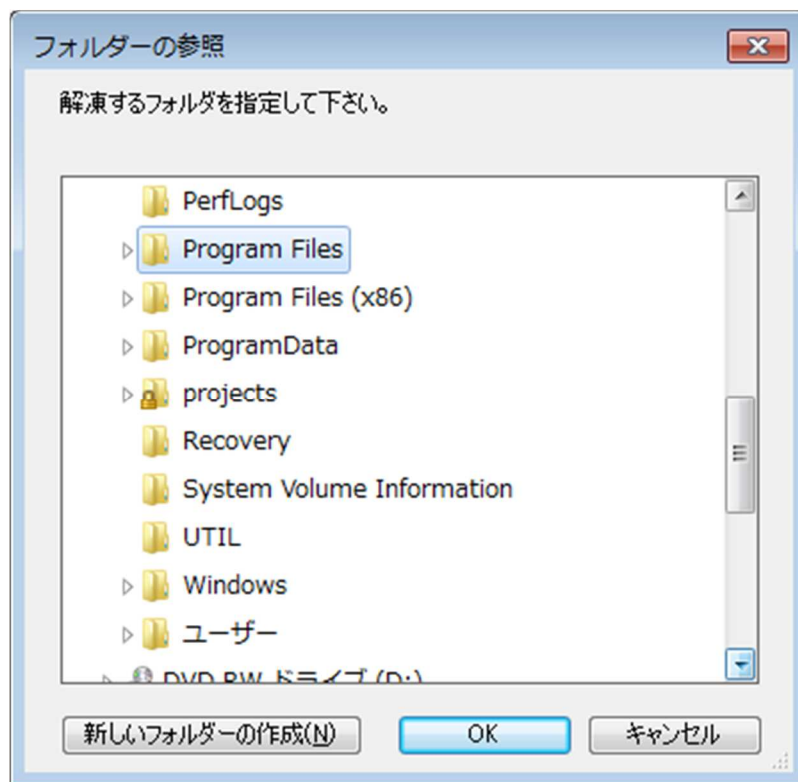
### 5.3.1 出力先フォルダ

CubeICE で解凍をおこなったときに、作成されたファイル、フォルダを保存する場所を指定します。指定できる場所は、以下の 3通りです。

**指定したフォルダ** … ユーザが指定したフォルダに常に圧縮ファイルを作成します。尚、「指定したフォルダ」をチェックしただけの状態(フォルダの指定なし)のときには、デスクトップに圧縮ファイルを作成します。

**元のファイルと同じフォルダ** … 圧縮するファイル、フォルダの存在するフォルダに圧縮ファイルも作成します。

**実行時に指定する** … 実行時に以下のようなダイアログが表示されます。



### 5.3.2 詳細

解凍については、以下の項目について設定する事ができます。

**上書き確認を行う** … 指定した名前のファイルが既に存在する場合に、上書きを行うかどうかを確認するためのダイアログを表示します。

この設定には、既に存在するファイルの更新日時と解凍して作例されたファイルの更新日時を比較して、解凍して作成されたファイルの更新日時の方が新しい場合には確認ダイアログを表示しないオプションが存在します。

**フォルダを自動生成する** … 解凍する際に、元の圧縮ファイル名のフォルダを自動的に作成し、そのフォルダの中に解凍したファイル、フォルダを保存するようになります。この設定には、指定された圧縮ファイルが、単一のフォルダに全てのファイル、フォルダが格納されている場合にはフォルダを生成しないようにするオプションが存在します。

**ファイルのフィルタリングを行う** … 解凍する際に、特定の条件に合致する名前のファイルを保存しないようにします。保存しない名前のファイルの設定は、「フィルタリング」タブで設定する事ができます。

**保存先フォルダを開く** … 解凍処理が終了した後に、解凍されたファイル、フォルダが保存されているフォルダを自動的に開きます。この設定には、「デスクトップの場合は開かない」ように設定できるオプションが存在します。

**ツールチップにファイル一覧を表示する** … エクスプローラーなどで、CubeICE に関連付けられている圧縮ファイルにマウス・カーソルをあわせるとツールチップにその圧縮ファイルのファイル一覧が表示されます。

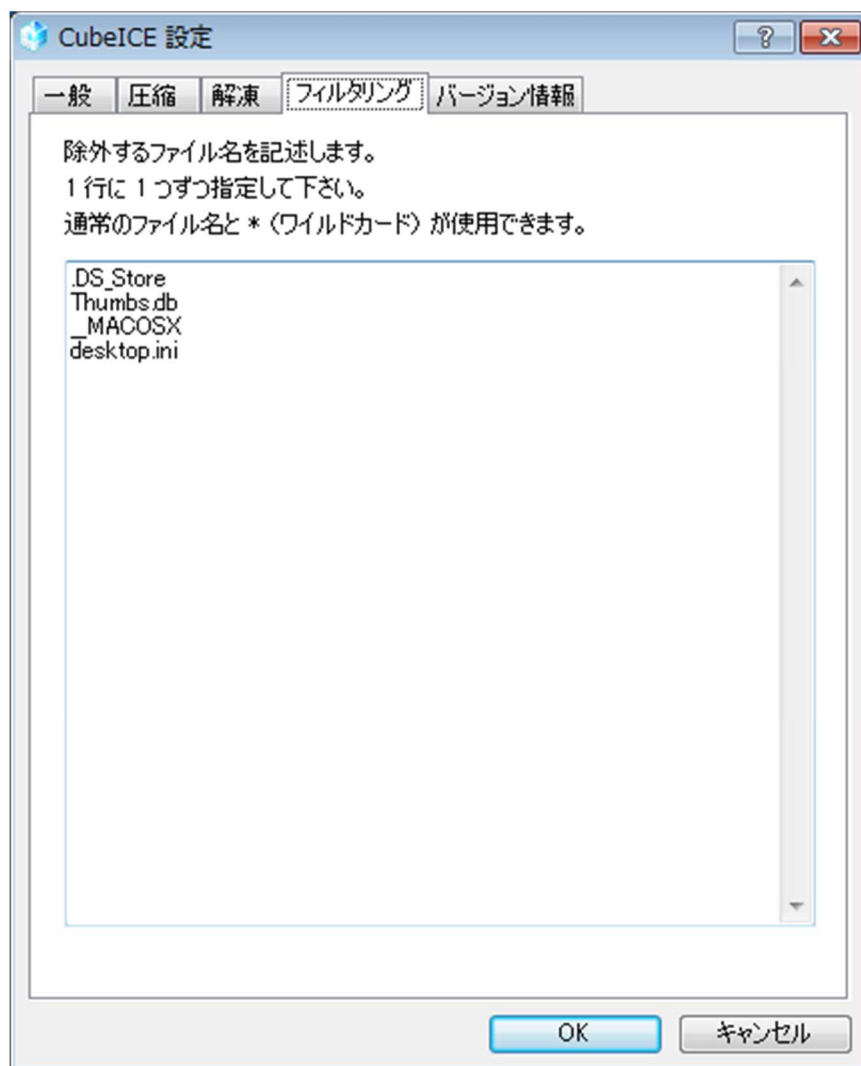
圧縮ファイルに含まれるファイル、フォルダが「最大表示件数」を超える場合には、最大表示件数分だけ表示され、残りは省略されます。

**エラーレポートを表示する** … CubeICE で解凍を行っているときに何らかのエラーが発生した場合に、エラー内容が表示されます。

## 5.4 フィルタリング

「圧縮」、「解凍」タブの詳細グループで「ファイルのフィルタリングを行う」をチェックした場合に、実際にフィルタリング(除外)するファイルを記述します。フィルタリングするファイルは1行に1つずつ記述します。使用できる文字は、通常ファイル名と「\* (ワイルドカード)」です。例えば、\*.txt と指定すると、拡張子が txt のファイルが全てフィルタリングされます。

初期設定では、システムが自動的に生成する desktop.ini, Thumbs.db, .DS\_Store, \_\_MACOSX の4種類のファイルをフィルタリング対象に設定しています。

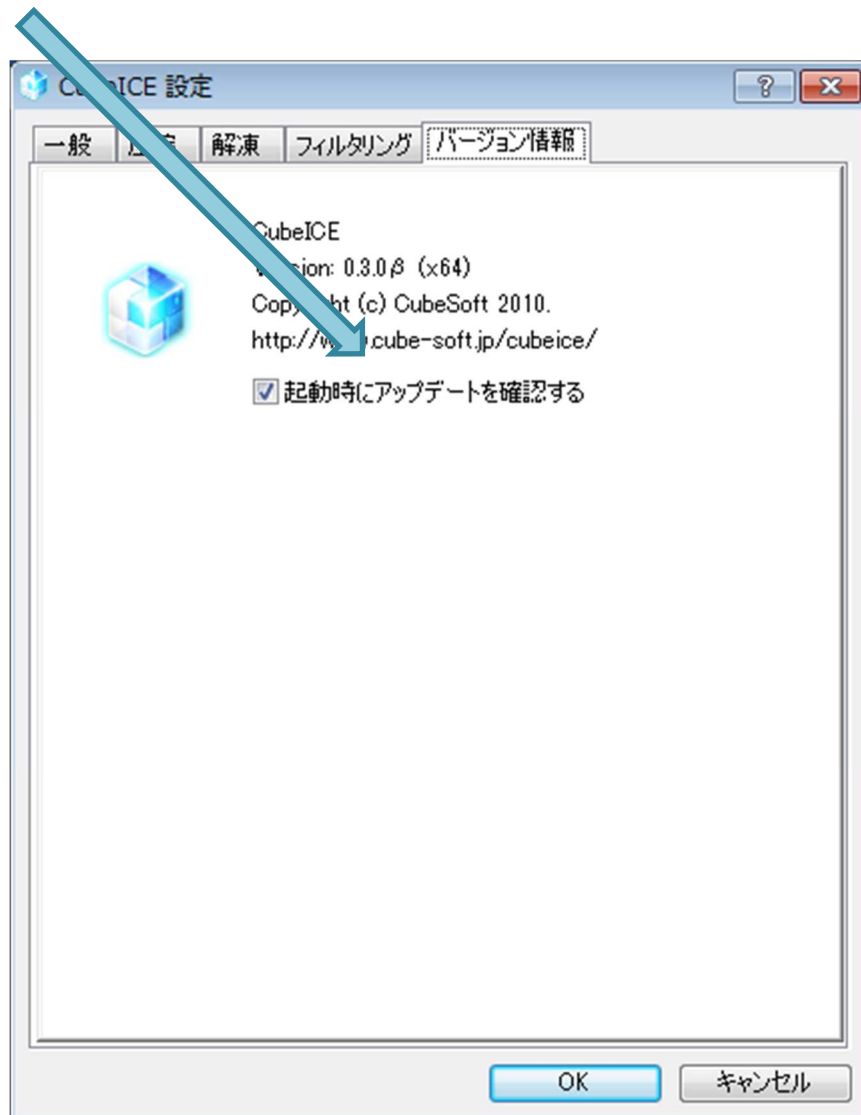


## 5.5 バージョン情報

CubeICE のバージョン情報が表示されます。CubeICE には 32bit 版と 64bit 版が存在しますが、どちらを使用しているのかもここで判別できます。

※ x86 の場合は 32bit 版、x64 の場合は 64bit 版。

「起動時にアップデートを確認する」をチェックしておくと、CubeICE がバージョンアップされた時に通知されます。

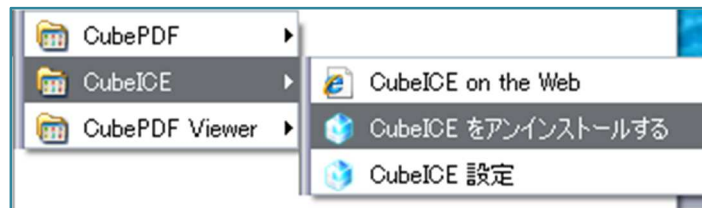


## 6. CubeICE のアンインストール

CubeICE をアンインストールするには、以下の2通りの方法があります。

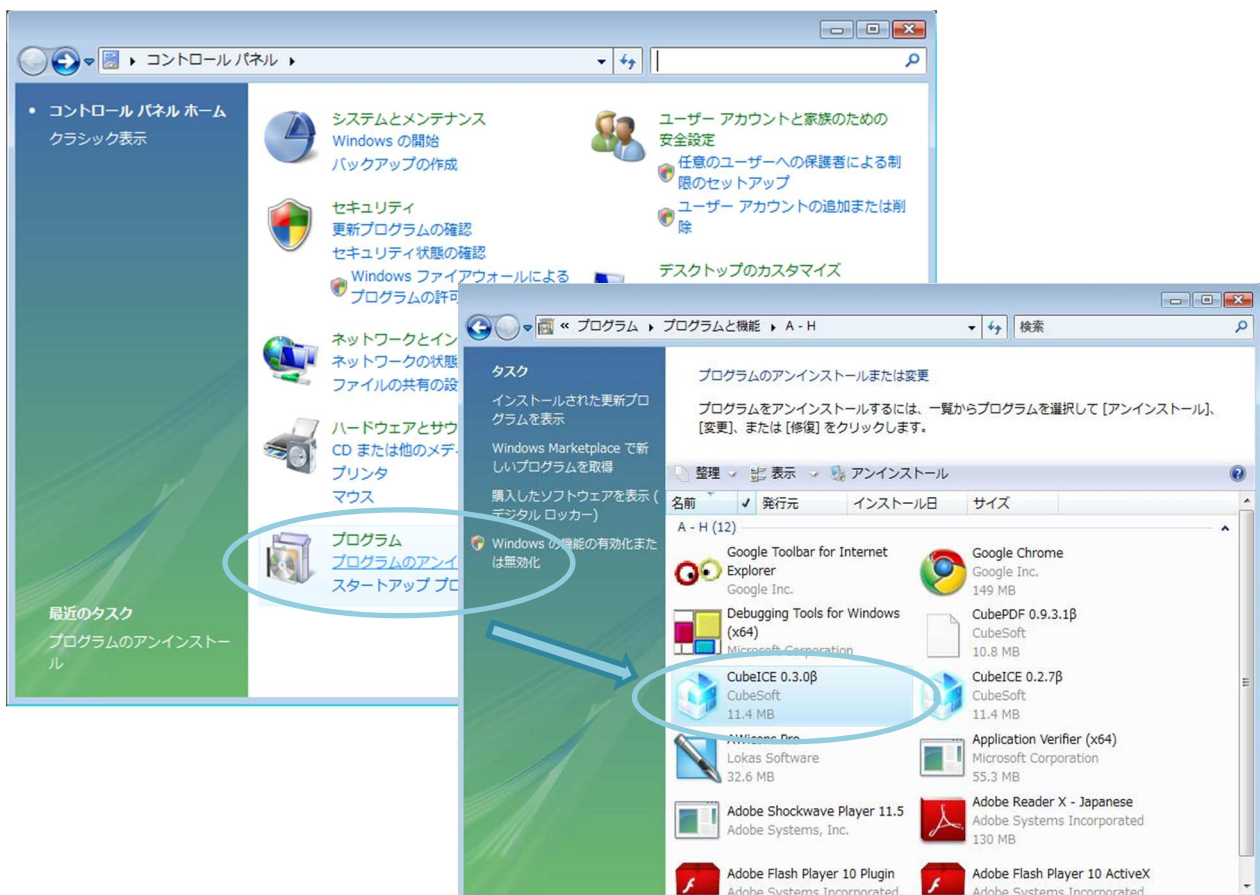
### 6.1 スタートメニューからのアンインストール

スタートメニューの「すべてプログラム → CubeSoft → CubeICE」にある「CubeICE をアンインストールする」を選択します。



### 6.2 コントロールパネルからアンインストールする

コントロールパネルの「プログラム」から CubeICE を選択し、「アンインストールする」ボタンを押します。



## 7. おわりに

本ソフトに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

E-mail: [support@cube-soft.jp](mailto:support@cube-soft.jp)

URL: <http://www.cube-soft.jp/>

株式会社キューブ・ソフト